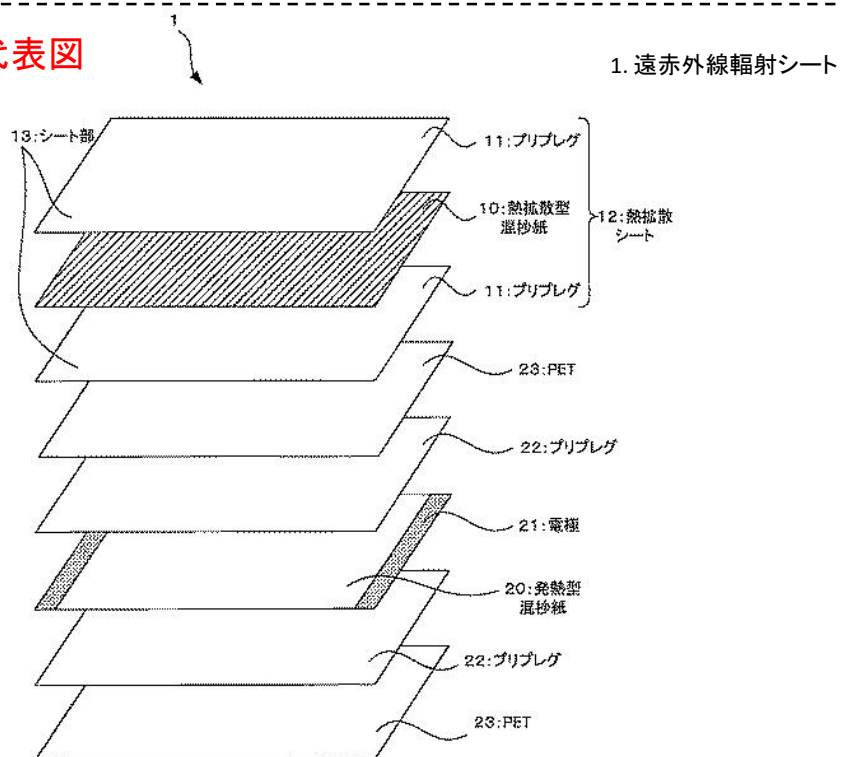


発明の名称	熱拡散シート、遠赤外線輻射シート、熱拡散シートの製造方法および温度管理方法		
出願人/権利人	株式会社MOZU、株式会社IWC	発明者	菱田 清行
出願日	平成28年12月14日	出願番号	2016-242458
公開番号	2018-94818	特許番号	6601845
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

発熱箇所の熱拡散を促し、局所的な温度上昇を防止するシート

特徴

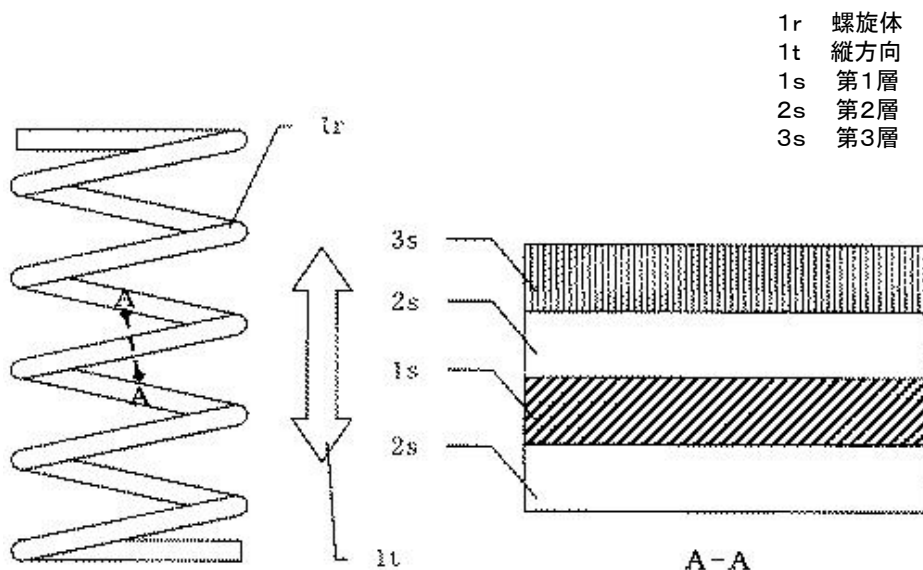
発熱箇所の熱拡散を促し、局所的な温度上昇を抑制できる熱拡散シート・遠赤外線輻射シート・熱拡散シートの製造方法および温度管理方法である。遠赤外線輻射シートには熱拡散シートが積層されているので、発熱箇所の熱拡散を促し、局所的な温度上昇を抑制する。具体的には、シート内での温度ムラが改善され、任意の箇所において放熱を遮断された状態が継続することによって起きる局所的な温度上昇を抑え、任意の発熱箇所の熱拡散を促す。つまり、こもり熱の発生を大幅に抑制することのできる面状ヒーターであり、面状発熱体の温度管理に役立つ。

関連分野

業務用機械、電子部品・素子、電気機械

発明の名称	螺旋型二次電池		
出願人/権利人	松井 裕憲	発明者	松井 裕憲
出願日	平成30年4月30日	出願番号	2018-097432
公開番号	2019-194965	特許番号	6524386
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

電池容量を高め、二次電池材料の剥離、損壊などを起こりにくくする技術

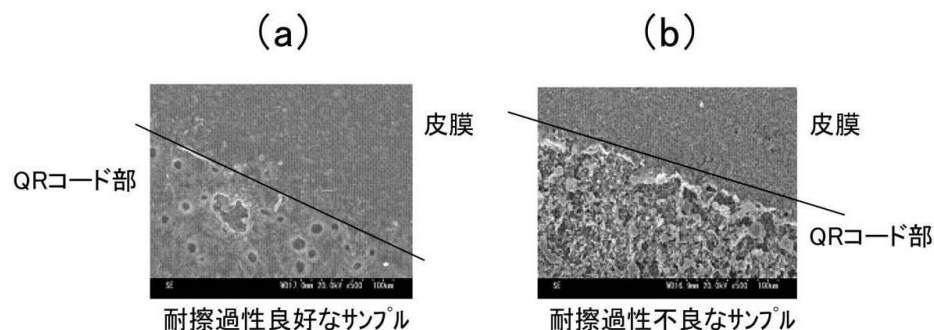
特徴

正極活物質・負極活物質・固体電解質が積み重なる方向に螺旋形状なので、螺旋の層と層との距離を縮めて密度を高められ、同じ容積の容器に二次電池を入れた場合の電池容量を高められる。

螺旋形状の二次電池の材料に、さらに二次電池の材料を付加することで、従来の二次電池のように、二次電池の材料を積層した後に筒形状・円筒形状・螺旋形状などに成形する場合に比べて、変形量を小さくすることができる。また、二次電池材料の剥離、損壊、などが起こりにくくなる。さらに、電氣的に切断することで、切断面を境界とした層を持つ積層構造の二次電池を得られる。

発明の名称	耐擦過性レーザーマーキング用インク組成物		
出願人/権利人	東罐マテリアル・テクノロジー株式会社、株式会社生野金属	発明者	石河 明、小西 康晴
出願日	平成30年5月23日	出願番号	2018-098873
公開番号	2019-203068	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



耐擦過性の良好なサンプル表面を
走査型電子顕微鏡で観測した写真

発明の概要

黒色度が高い文字や図柄などを形成できる耐擦過性レーザーマーキング用インク組成物

特徴

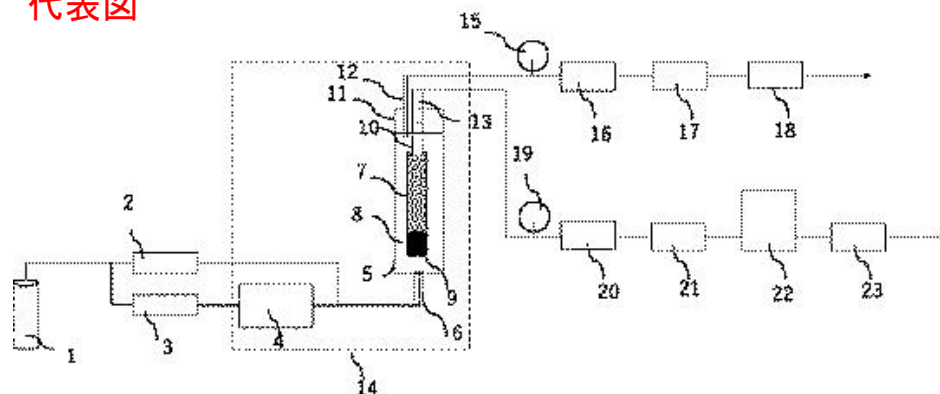
本発明の耐擦過性レーザーマーキング用インク組成物は通常、粒径0.1~10 μ m、好ましくは0.5~5 μ mの微粒子である。耐擦過性レーザーマーキング用インク組成物を、プラスチックフィルム・紙・金属箔またはガラスからなる基材や、金属缶などの容器の表面に塗工する工程と、形成された塗工層の上に透明な表面保護層を積層状に設ける任意工程と、得られた多層体にレーザーを照射してレーザーマーキング用添加剤を変色させる工程とを実施して、耐擦過性のレーザーマーキング印字と画像を形成できる。黒色度が格段に高く耐擦過性に優れた文字や図柄、コードなどを形成できる。

関連分野

ガラス・セラミック、電子部品・素子、印刷

発明の名称	ナノ多孔性膜の細孔径分布測定装置		
出願人/権利人	イーセップ株式会社	発明者	澤村 健一
出願日	平成30年5月24日	出願番号	2018-099964
公開番号	2019-203825	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



- 1 非凝縮性ガス供給源 2 流量コントローラー(調節手段)
 3 流量コントローラー(調節手段) 4 凝縮性ガス供給手段 5 本体
 6 検査ガス供給管(検査ガス供給手段) 7 被検体 8 チャンバ(一次チャンバ)
 9 閉塞部材 10 ホルダ(保持手段)(内部が2次チャンバ) 11 キャップ
 12 余剰ガス排出管 13 通過ガス排出管 14 恒温槽(温度調節手段)
 15 圧力測定・調整手段 16 凝縮性ガス濃度測定手段
 17 凝縮性ガス冷却・トラップ手段 18 流量測定手段 19 減圧測定手段
 20 凝縮性ガス冷却・トラップ手段 21 質量流量計
 22 緩衝用空間(容積0.1から100L) 23 減圧調整・減圧手段

発明の概要

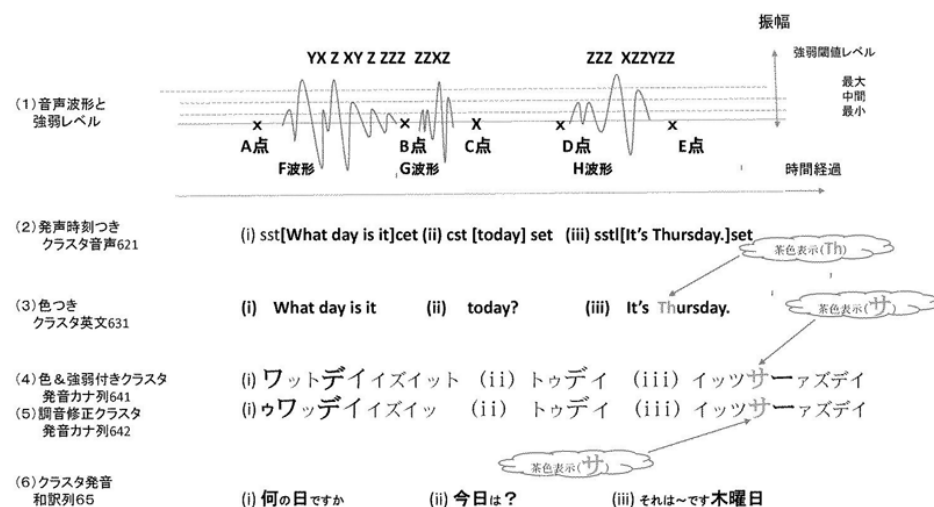
分離膜などナノ多孔性膜の細孔径分布評価などに利用可能な細孔径分布測定装置

特徴

高価な装置は必要なく、被検体の形態を崩さずに、被検体のメソポアからマイクロポアの領域までの細孔径及びその分布状況を迅速に測定できるようにした細孔径分布測定装置である。質量流量計と減圧手段の間の連結空間が0.1～100Lの容積を有するので、質量流量計の安定性を向上させ、定常状態に達するまでの時間を短縮化し、測定に要する時間を大幅に短縮できる。さらに、測定流量範囲の異なる質量流量計を複数台組み合わせることで測定可能流量範囲を拡大させ、迅速に高精度で測定できる。分離膜などナノ多孔性膜の細孔径分布評価などに利用可能である。

発明の名称	外国語音声用日本語文字列表示装置、同表示システム、同表示方法、プログラム、記録媒体、および同表示媒体		
出願人/権利人	株式会社ビジョナリスト	発明者	三木 弼一、三木 学
出願日	平成30年5月25日	出願番号	2018-100400
公開番号	2019-204042	特許番号	6449506
法的状態	登録中		

代表図



本発明の実施の形態に係る音声波形とクラスタ情報の関係

発明の概要

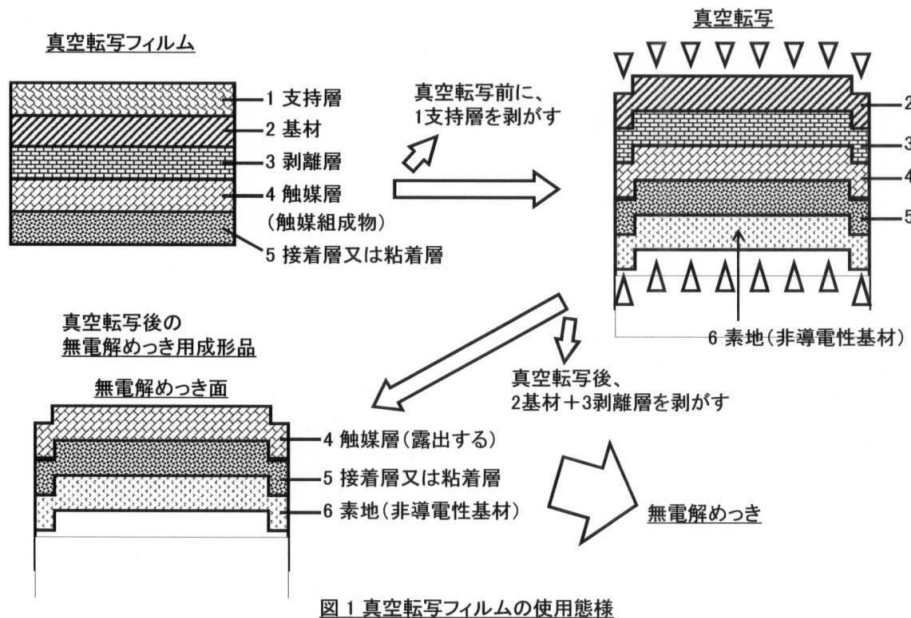
外国語を聞いて日本語で表示する外国語音声用日本語文字列表示装置

特徴

本発明の外国語音声用日本語文字列表示装置は、ユーザーが発した外国語を日本語または外国語の文章で表示するシステムである。音声と単語和訳、音声と発音記号のカタカナ列、音声と外国語文をそれぞれ対応させて表示する事により学習効果をあげられる。例えば、3個以上の単語が連結した外国語音声クラスタの発声と同時に、対応したリズム感ある日本語文字列を表示させる。さらに、音の強弱を反映でき、かつ調音変化のある外国語音声に対して、発音記号列として表示されるので、日本人の外国語学習者に極めて分かり易い情報を提供できる。

発明の名称	無電解めっき用真空転写フィルム		
出願人/権利人	株式会社イオックス、株式会社フジコー、ローヤル工業株式会社	発明者	落合 博、藤本 紘平、森 光弘
出願日	平成30年12月7日	出願番号	2018-229785
公開番号	—	特許番号	6612419
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

プラスチック等の触媒活性の無い非導電性基材に対して無電解めっきを行う技術

特徴

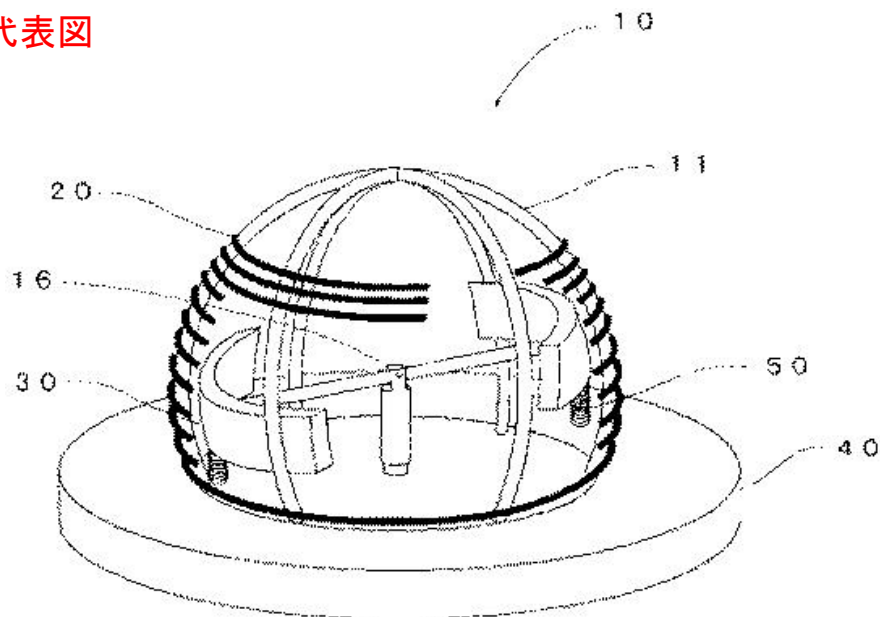
本発明は真空転写技術により、無電解めっき用真空転写フィルムを用いて、その非導電性基材に触媒物質を付着させ、無電解めっきを行うことで非導電性基材に無電解めっき皮膜を形成させる技術である。使用する金属粒子はパラジウム粒子、金粒子、銀粒子又は白金粒子であり、離型性を有する基材が、ポリウレタンで構成されるフィルムである。これらの転写フィルムを用いると、非導電性基材に対して触媒層を良好に転写でき、平面材料の他に、箱体への転写や無電解めっきが行えるようになる。非導電性基材に転写された触媒層により、表面が滑らかな無電解めっき皮膜を形成できる。

エネルギー

車・人の歩行などあらゆる振動で発電できる振動発電装置

発明の名称	振動発電装置		
出願人/権利人	濱田 三志	発明者	濱田 三志
出願日	平成31年3月27日	出願番号	2019-059647
公開番号	2019-134672	特許番号	6603820
法的状態	登録中		

代表図



10 発電機構 11 コイル支持体 16 シーソー体 20 電磁コイル
 30 永久磁石 40 基台 50 下部用コイルばね(下部弾性体)

発明の概要

簡単な構造で、場所を選ばず発電できる振動発電装置

特徴

本発明の振動発電装置は、外力により振動する基台の上に振動エネルギーを直接利用する発電機構を設けたことを特徴としている。電磁コイル内のシーソー体が、シーソー運動と回転運動とを自在にできるように設けられているので、どのような振動でも効率よく発電できる。シーソー体の両端下部に下部弾性体を備えており、下部弾性体はコイルばねが好ましく、弾性定数を変化させて発電効率を調整できる。水面や海面、自動車、船舶、列車などに設置するだけでなく、人が通行する歩道の下面に設置することで足による人力発電装置としても利用できる。

関連分野

業務用機械、電子部品・素子、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、建設・土木